

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）

事業計画

1. はじめに

京都連盟が策定した令和7年度事業計画には、次の4つの重点目標を掲げ、「団運営者、指導者、保護者、協力関係者などがスカウト活動を支えるために取り組みます」としています。

(1) スカウトの登録数を増やす

- ①新しく仲間になるスカウトを増やすだけでなく、長く活動を続けられる環境を整える。
- ②スカウトにとって楽しく魅力的な活動を提供し、成長を実感できる場を増やす。
- ③団内のコミュニケーションを活発にし、指導者・保護者・スカウトのつながりを強める。

(2) 指導者や団運営者の数を増やし、スキルを向上させる

- ①指導者の育成を強化し、充実したプログラムを提供できる体制を整備する。
- ②指導者研修の機会を拡充し、スカウト活動の質を向上させる。

(3) スカウト活動の魅力を社会・地域に伝え、理解者を増やし、認知度を高める。

- ①地域社会への広報活動を強化し、スカウト運動の理解者・共感者を増やす。
- ②学校や地域団体と連携し、スカウト活動の普及を図る。

(4) スカウト運動の信頼を高める

- ①倫理観や社会的責任を大切にし、安心して参加できる活動を目指す。
- ②安全管理の徹底や組織運営の透明性を高める。

さらに京都連盟は本年、創立110周年を迎え、5月に南丹市日吉にて開催した第72回京都キャンポリーを始めとし、来年11月1日のスカウト大集合・記念式典までの間、歴史的な節目と位置づけて活動に力を入れています。

翻って当振興会は定款第3条に「京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神の育成に役立つこと」を目的としています。

京都連盟が内的充実に向かうところ、振興会は外的充実、すなわちこの運動を支える維持会員の満足度がバロメーターであります。厳しい国際情勢の中で日本が先進国であり続けるためには、スカウト教育を受けた青年に次代を託せるか、地域や企業の期待に応えられるかが問われています。本年度の振興会は「自助・共助・公助の人づくり」の真価を求めて、新規維持会員の拡充と、社会とスカウトをつなぐ立場で京都のボーイスカウト運動を支えてまいります。

2. 次のそれぞれの事業ごとに計画を策定し実行してまいります。

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業
- (2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業
- (3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業
- (4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のため
共催事業
- (5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

3. 事業計画の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ロ) 事業予算

事業費として、1,300千円を見込む。

日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の令和7年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要な事業費に対して助成する予定である。

また、京都連盟創立110周年記念事業に500千円を見込む。

(ハ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

（当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル）

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ロ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(ハ) 広河原野営場は、京都北山の自然を堪能できる拠点として、またボーイスカウトが目指すハイアドベンチャーの基地として、活用の方法を紹介し、利用者増を目指す。

(カ)事業予算

事業費として、広河原野営場簡易宿泊建物にかかる減価償却費の他、整備委託費・修繕費として、50千円を見込む。

(3)指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア)趣旨

熱意ある指導者の育成は、喫緊の課題である。その人材を発掘し育成することはスカウト運動の普及に欠かせない。セミナーや研修会等の開催を助成する。

(4)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業：「イベント」

ボーイスカウトが主催する様々な行事が、参加者も主催者もワクワクする魅力ある活動であるか、またスカウト教育が目指す方向で成果があるかについて、外部の視点で評価し、支援の意義を高めていく。

(ア)国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等を予定している。

(イ)社会に役立つ事業活動支援

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会の沿道整理奉仕
防災意識の社会的な高まりに应运じて、日本連盟が推進する「全国防災キャラバン」の京都会場を、地区主催で府内各地で開催する。
多くの地道な奉仕活動により大会を支えている事実を、マスコミ報道を通じてクローズアップさせる。

(ロ)環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業：「広報」

(ア)ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

- ①ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、ならびに不特定多数の方々に対して、ホームページ等を通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。
- ②ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員、および潜在的な維持会員に対して、ホームページ等を通じて、会費の協力を依頼する。
- ③OBの復帰受け皿としての「サポーター制度」を確立し、ホームページ等を通じて公募する。

(イ)事業予算

事業費として、132千円（ホームページ運営改革費）を見込む。

以 上